

**Canon**

---

# ***WebView Livescope***

ビューワソフトウェア

---

## **ユーザーズ マニュアル**

***WebView Livescope***  
Live & Active

***Ver. 3.20***

**J**

日本語版

# もくじ

## はじめに

お客様へのお願い.....	4
著作権について.....	4
商標について.....	4
表記について.....	4
WebView Livescope の概要.....	5
ビューワの概要.....	6
Java 版ビューワ.....	6
ヘルパー版ビューワ.....	7
動作環境.....	8
Java 版ビューワ Ver.3.20.....	8
ヘルパー版ビューワ Ver.3.20.....	8

## Java 版ビューワ

Java版ビューワを使用するための準備.....	10
Internet Explorer を使用する場合.....	10
Netscape Navigator または Communicator を 使用する場合.....	10
Java版ビューワを起動する.....	12
「LiveApplet」の操作方法.....	13
「LiveApplet」の表示画面について.....	13
パノラマウィンドウ.....	14
カメラ制御を開始する.....	15
カメラを制御する.....	16
カメラのアンブルを変更する.....	16
カメラのズーム倍率を変更する.....	17
カメラを選択する.....	18
プリセットを使用する.....	18
映像ソースのサイズを変更する.....	19
逆光を補正する.....	19
映像のスナップショットを取り込む.....	20
「Glimpse」を使用する.....	22
「Glimpse」の表示画面.....	22

## ヘルパー版ビューワ

ヘルパー版ビューワを使用するための準備.....	24
2種類のヘルパー版ビューワの違い.....	24
ヘルパー版ビューワをインストールする.....	24
推奨Webブラウザ以外でご使用になるには.....	26
ヘルパー版ビューワを起動する.....	27
Webブラウザから起動する.....	27
単独で起動する.....	27

カメラサーバに接続する.....	28
接続先を指定して接続する.....	28
登録されたカメラサーバを 選択して接続する.....	29
切断する.....	29
ヘルパー版ビューワの操作方法.....	30
「ヘルパー版ビューワ」の表示画面について.....	30
パノラマウィンドウ.....	31
カメラ制御を開始する.....	32
カメラを制御する.....	33
カメラのアングルを変更する.....	33
カメラのズーム倍率を変更する.....	34
カメラを選択する.....	35
プリセットを使用する.....	35
映像ソースのサイズを変更する.....	36
全画面表示にする.....	36
逆光を補正する.....	37
動画表示を停止する、再開する.....	37
接続中のカメラサイトを登録する.....	38
映像を保存・印刷する.....	39
ファイルに保存する.....	39
映像を印刷する.....	39
情報を表示する.....	40
動画情報 / 接続情報 / カメラ情報.....	40

## ヘルパー版ビューワ環境設定

環境設定.....	42
起動時設定を行う.....	42
「HTTPプロトコル」の設定.....	43
「高速化」の設定.....	44
「起動画面サイズ」の設定.....	45
サーバの登録と変更.....	46
カメラサイトリストに登録する.....	46
リストに追加する.....	46
リストの登録内容を変更・削除する.....	47
中継サーバリストに登録する.....	48
接続中の中継サーバをリストに追加する.....	48
接続していない中継サーバをリストに追加する.....	49
リストの登録内容を変更・削除する.....	49

## 付録

エラーメッセージ一覧.....	52
索引.....	55

# はじめに

このマニュアルは「WebView Livescope ビューワソフトウェア Ver. 3.20」の使用方法について説明しています。ビューワにはJava版ビューワとヘルパー版ビューワの2種類があり、映像発信者が用途に応じて使い分けています。映像を見るという基本機能は同じですが、それぞれに特長、機能が異なります。また、ビューワを使用するコンピュータの環境に応じて、必要な動作環境やご使用前の準備が異なります。ご使用前によくお読みになって、有効に活用してください。

また、本マニュアルは読んだあとも大切に保管しておいてください。

## お客様へのお願い

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。

本書の内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

本書の内容は、万全を期して作成しております。

万一、ご不審な点や誤り、あるいは記載もれなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。運用した結果の影響につきましては、上記 項にかかわらず、一切の責任を負いかねます。

### 著作権について

著作権についてお客様が撮影した映像や画像は、個人で楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください

### 商標について

Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows NT, Microsoft Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Netscape は Netscape Communications Corporation の商標です。

その他記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本マニュアルでは、「Microsoft Windows」のことをWindowsと記述します。

### 表記について



お願い

操作上必ず守っていただきたい注意事項や制限事項が書かれています。必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

# WebView Livescope の概要

WebView Livescope は、ライブ映像配信と遠隔からのカメラ制御を実現するシステムです。

システム構成は、カメラサーバとビューソフトウェアからなります。カメラサーバは、ビデオカメラから撮った映像をインターネット / イン트라ネットに向けてライブ配信します。ビューソフトウェアでは、その映像を表示し、遠隔からのカメラ制御を行うことができます。

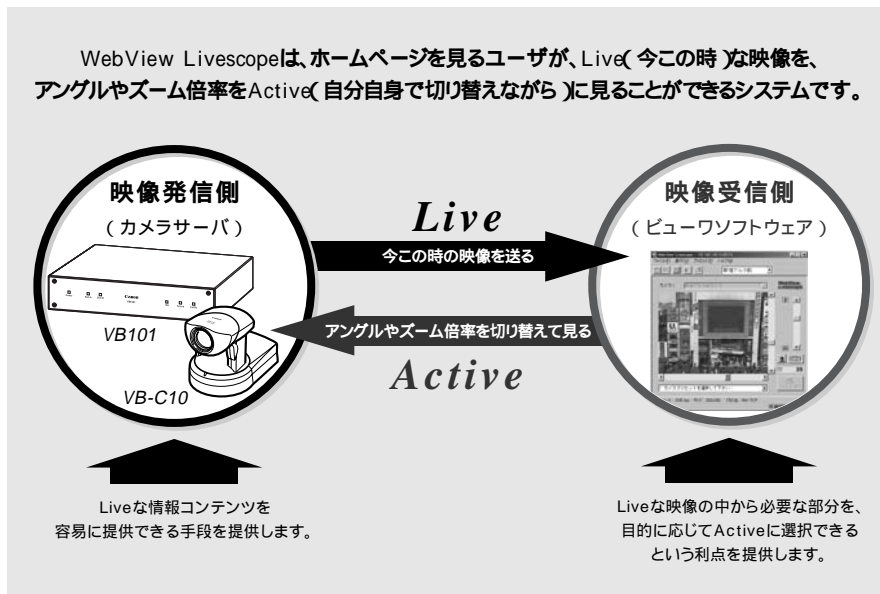
WebView Livescope は、ホームページからのライブ映像配信やモニタリングなど幅広い用途で活用いただけるシステムです。

カメラサーバには次の種類があります。

- ・ネットワークカメラサーバ VB101
- ・ネットワークカメラ VB-C10 / VB-C10R
- ・WebView Livescope カメラサーバ Ver.3.10

ビューソフトウェアには次の種類があります。

- ・WebView Livescope ビューソフトウェア (本書 : カメラサーバ製品に無償同梱)
- ・WebView Livescope MV Ver.2.0 / LE ソフトウェア



# ビューワの概要

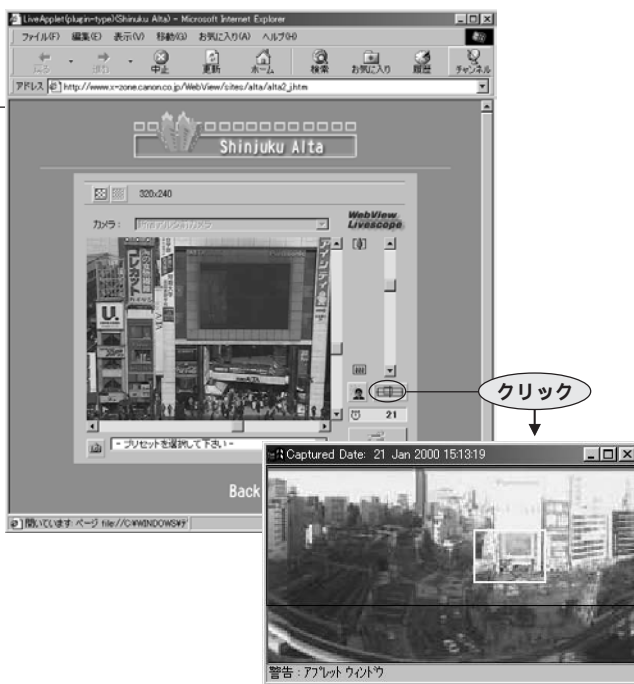
WebView Livescope ビューワソフトウェアは、Java版ビューワとヘルパー版ビューワの2種類があります。

## Java 版ビューワ

Java で実現したビューワです。Java が動作する Web ブラウザがあれば、プラットフォームに依存せずカメラサーバの映像を見ることが出来ます。ビューワ起動時に Java のアプレットをダウンロードしてくるため、最初の映像が表示されるまで多少時間がかかりますが、事前にビューワをコンピュータにインストールしておく必要はありません。Java 版ビューワには「映像表示」「カメラ制御」機能を持つビューワ「LiveApplet」と「映像表示」機能を持つビューワ「Glimpse」の2種類が用意されています。

### 動画用 Java 版ビューワ LiveApplet

映像表示機能  
カメラ制御機能



パノラマ画像

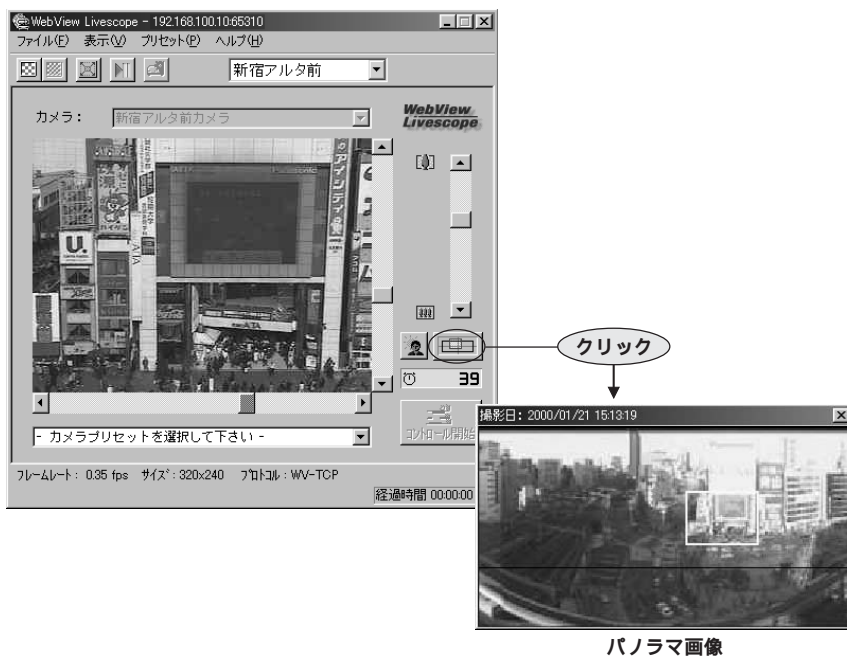
### 動画用 Java 版ビューワ Glimpse

映像表示機能



## ヘルパー版ビューワ

ヘルパーアプリケーションとして実現したビューワです。このビューワには「映像表示」「カメラ制御」機能があり、起動時には別のウィンドウとして表示されます。事前にインストールする必要がありますが、最初の映像表示が速いという利点があります。このビューワは現在 Windows に対応したものが用意されています。



パノラマ画像





お願い

ヘルパー版ビューワは、ネットワークカメラサーバ VB101 およびネットワークカメラ VB-C10/VB-C10R に同梱されるものと、WebView World ホームページから無償ダウンロードできるものの 2 種類があります( P.24)。パノラマ画像は、あらかじめカメラサーバ側で登録設定しておく必要があります。



# 動作環境

## Java 版ビューワ Ver. 3.20

Webブラウザ	Javaが動作するWebブラウザ  Microsoft Internet Explorer 4.01以降を推奨  Netscape Navigator/Communicator 4.78以降を推奨(6.01、6.1を除く)
コンピュータ本体	DOS/V機またはNEC PC98シリーズ
OS	Windows 98 Second Edition、Windows Me、WindowsNT4.0(IE4.01以降必須)、Windows 2000、Windows XP

本ビューワはカメラサーバにインストールされており、アクセスした時点でクライアント側に自動的にダウンロードされます。上記以外のOSやWebブラウザでは、動作が不安定なことがあります。

## ヘルパー版ビューワ Ver. 3.20

Webブラウザ	 Microsoft Internet Explorer 4.01以降を推奨  Netscape Navigator/Communicator 4.78以降を推奨
コンピュータ本体	DOS/V機またはNEC PC98シリーズ
OS	Windows 98 Second Edition、Windows Me、WindowsNT4.0(IE4.01以降必須)、Windows 2000、Windows XP

カメラサーバに付属のCD-ROMから事前にインストールする必要があります。



# 第1章

## Java 版ビューワ

この章ではWebView Livescope Java 版ビューワを使用するための準備、操作方法を説明します。

# Java 版ビューワを使用するための準備

Java 版ビューワは、カメラサーバから自動的にダウンロードされます。事前にインストールするなどの作業は必要ありません。ただし、使用する Web ブラウザの種類や使用環境によっては Web ブラウザの設定を変更しなければなりません。

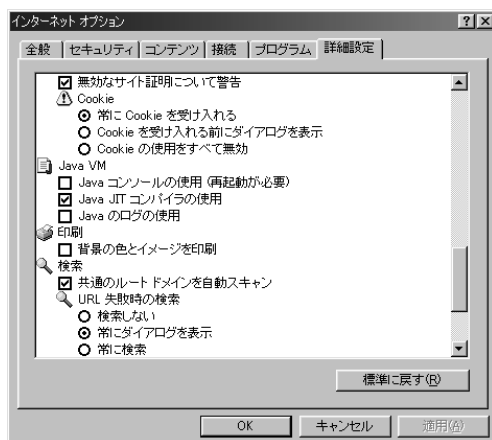
## Internet Explorer を使用する場合



Internet Explorer には Java の使用を許可するか、許可しないかを設定する項目があります。

メニューの[表示]-[インターネットオプション]を選び、[詳細設定]タブで[Java VM]の項目の[Java JIT コンパイラの使用]に設定してください。

また、Internet Explorer 5 以降の場合、Java VM をインストールする必要があります。



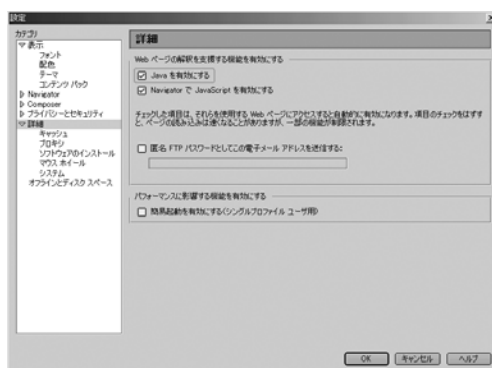
Internet Explorer4.01 の場合

## Netscape Navigator または Communicator を使用する場合



Netscape Navigator または Communicator には Java の使用を許可するか、許可しないかを設定する項目があります。

メニューの[編集]-[設定]を選び、[詳細]で[Java を有効にする]に設定してください。



Netscape Navigator6.2 の場合



お願い

Web ブラウザへの設定は、バージョンにより異なる場合があります。ここでの設定をご参考の上、ご確認ください。



メモ

## LAN 環境で使用する場合

カメラサーバをLAN環境で利用する場合、Webブラウザのプロキシ設定が手動設定になっていると、映像配信がプロキシ経由となり映像フレームレートの低下やプロキシサーバの過負荷などの原因になります。

以下の手順に従い、「プロキシなし」で接続するように設定してください。ただし、ファイアウォール外にあるインターネット上のカメラサーバにアクセスするときは、カメラサーバに関する登録をする必要はありません。

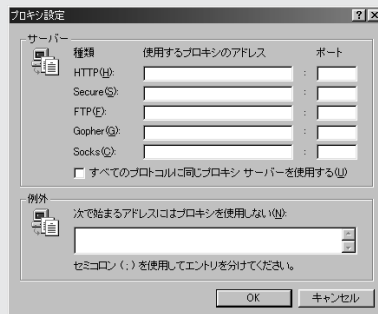
### 設定例



#### Internet Explorer の場合

メニューの[表示]-[インターネットオプション]を選び、[接続]タブをクリックします。

[例外]指定欄に[カメラサーバのIPアドレス：HTTP変換サーバのサービスポート]を追加します。複数指定がある場合は「;」（セミコロン）で区切って入力します。



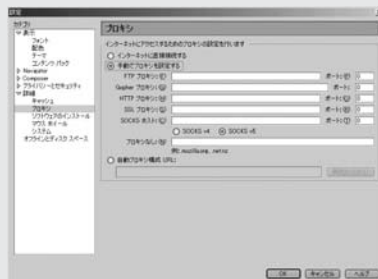
Internet Explorer4.0.1 の場合



#### Netscape Navigator または Communicator の場合

メニューの[編集]-[設定]を選び、[プロキシ設定]をクリックします。

[手動でプロキシ設定]の設定で[カメラサーバのIPアドレス：HTTP変換サーバのサービスポート]を追加します。複数指定がある場合は「,」（カンマ）で区切って入力します。



Netscape Navigator6.2 の場合

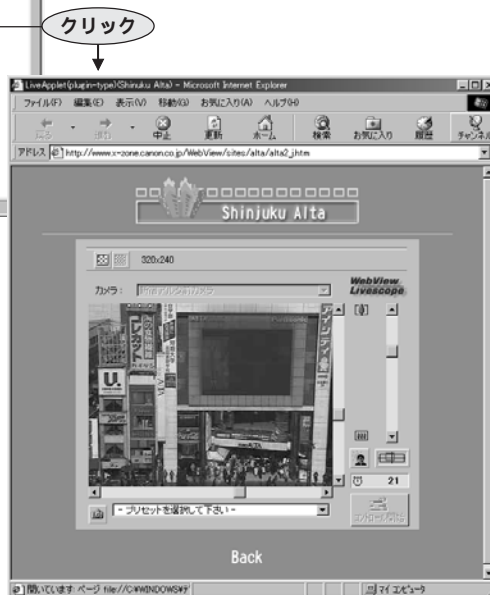
Webブラウザへの設定は、バージョンにより異なる場合があります。ここでの設定をご参考の上、ご確認ください。

# Java 版ビューワを起動する

Java 版ビューワは、映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザから起動します。  
映像配信用のホームページの作成は、カメラサーバのユーザーズマニュアル 第 5 章を参照してください。



映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザで、「Java版で見る」などのボタンをクリックすると、Java 版ビューワが起動し、カメラサーバに接続します。

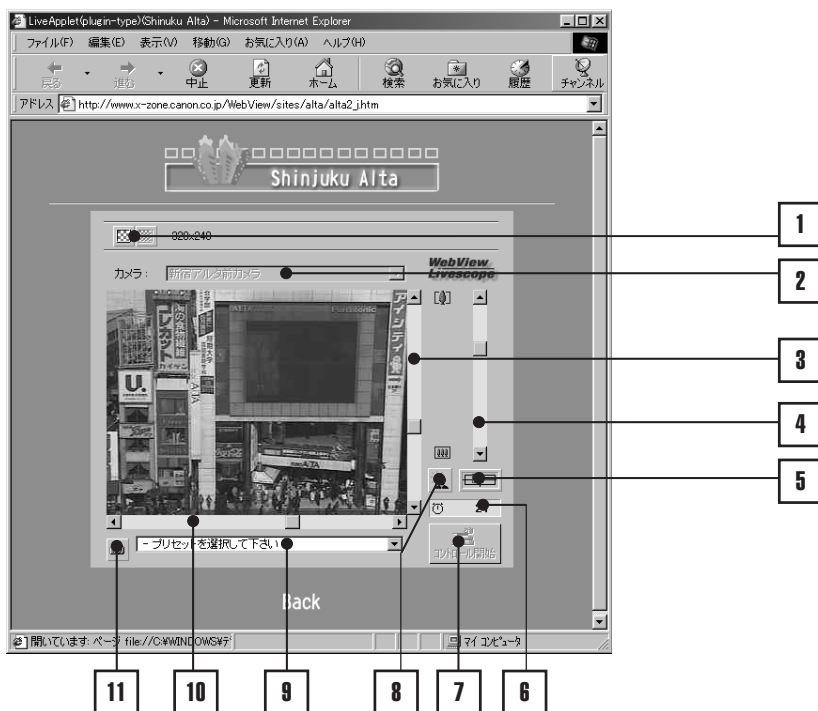


# 「LiveApplet」の操作方法

「LiveApplet」はカメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを変更できる GUI を持ったビューワです。

## 「LiveApplet」の表示画面について

Web ブラウザに表示された GUI の機能の概要を説明します。



- 1** 映像ソースサイズ変更ボタン  
表示される映像ソースサイズを右側のボタンで一段階細かく、左側のボタンで一段階粗く変更します。粗くするとフレームレートが高くなり、細くすると画質が良くなります。  
映像ソースサイズ変更ボタンはカメラサーバにより表示されない場合があります。
- 2** カメラ選択バー  
カメラサーバに複数のカメラが設置されているときにカメラの選択を行えます。
- 3** チルト用スクロールバー  
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。
- 4** ズーム用スクロールバー  
ズームの倍率を変更するスクロールバー。  
つまみを上方向に移動するとズームイン（望遠）、下方向に移動するとズームアウト（広角）します。
- 5** パノラマ表示ボタン  
パノラマウィンドウをポップアップ表示します。カメラサーバ側でパノラマ画像を登録しておく必要があります。登録されていない場合、パノラマ画像は表示されません。

- 6 カメラ制御状況ウィンドウ  
カメラ制御の情報（「カメラ制御できる」「カメラ制御できない」「順番を待っている」「カメラ制御の残り時間」）が表示されます。
- 7 コントロール開始ボタン  
カメラ制御の権利を獲得するためのボタン。
- 8 逆光補正ボタン  
逆光補正を行う。映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。もう一度ボタンをクリックすると解除されます。
- 9 プリセット  
カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル(プリセット)により、カメラを制御することができます。
- 10 パン用スクロールバー  
カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。
- 11 スナップショットボタン  
現在表示されている動画のスナップショットを別ウィンドウに表示します。画面の印刷や保存に使用できます。

## パノラマウィンドウ

パノラマウィンドウ上をクリックしたり、枠をドラッグすることでカメラ操作を行うことができます。



黒い枠表示は、カメラの中心が移動できる範囲を示しています。この枠を越えて外にカメラの中心を移動操作することはできません。

青い枠表示は、制御権を持たないときの現在のカメラの撮影している領域を示しています。

制御権を取得したときには黄色い枠表示に変わり、現在のカメラの撮影している領域を示すと同時に、黄色の枠内をドラッグしてパン・チルト操作を行ったり、枠上をドラッグしてズーム操作を行うことができます。



お願い

カメラサーバ側で可視範囲設定を行なっている場合、パノラマウィンドウの大きさが変わる場合があります。

## カメラ制御を開始する

カメラサーバは同時に複数のクライアントから接続することができますが、カメラの制御は同時に複数のクライアントからは制御できません。そのため「制御権」という考え方を導入し、制御権を取得したクライアントだけがカメラを制御できるようになっています。逆光補正やプリセットの使用も制御権を取得しなければ制御できません。

### 操作のしかた







[コントロール開始]ボタンをクリックして、制御権を取得します。



カメラ制御状況ウィンドウ  
カメラ制御の状態を表示します

### カメラ制御の状況表示

カメラの制御状態によって表示状態が以下のように変わります。

- 1**  カメラの制御がない場合
- 2**  [コントロール開始]ボタンをクリックして、カメラサーバと通信している状態。カメラサーバの応答が速いときは表示されません。
- 3**  制御取得の予約待ち状態。人マークの横に表示される数字は、制御を獲得できるまでの予測時間。ただし、カメラ制御を中止したり、予約待ちから抜ける人がいるので、時間表示が「0」になる前に制御権を獲得することがあります。
- 4**  制御権を取得した状態。時計マークの横に表示される数字はカメラ制御の占有時間。
- 5**  制御権占有時間を超えても制御権を保持できる状態。他のクライアントからのカメラ制御要求がないときの状態。
- 6**  カメラ制御サーバとの接続が何らかの理由で中断されたり、起動時に接続できなかったり、接続を許可されていないときの状態。状況表示パネルが赤く表示されます。

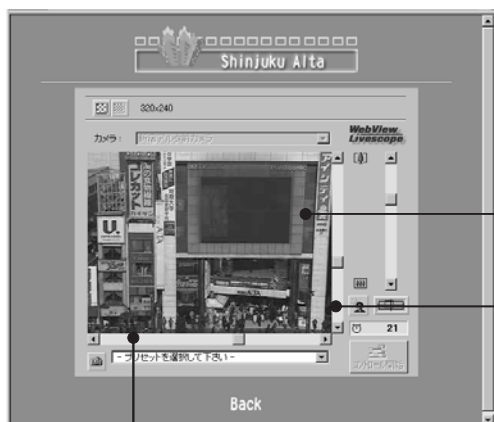
## カメラを制御する

カメラの制御権を取得すると、カメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを自由に行うことができます。

### カメラのアングルを変更する

#### 操作のしかた

パン用スクロールバーまたはチルト用スクロールバーのつまみを移動します。スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのアングルが変わります。



画像上をクリックすると、その位置にカメラの中心を移動することができます。

チルト用スクロールバー  
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。

#### パン用スクロールバー

カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。

### パノラマウィンドウでカメラのアングルを変更する



#### クリックで移動

パノラマウィンドウ上をクリックすると、クリックした場所が中心となるように、パン・チルトを移動します。

#### ドラッグで移動

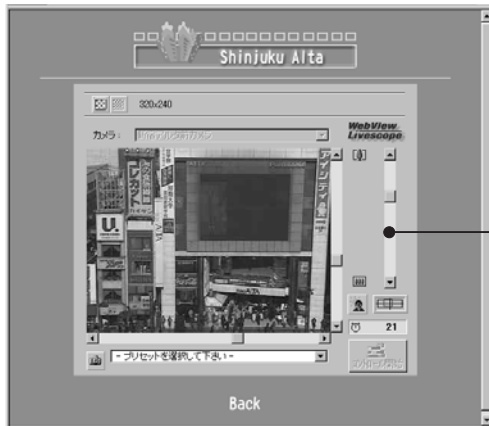
パノラマウィンドウ上の黄色の枠の内側をドラッグして移動すると、その枠内を撮像するようにパン・チルトを移動します。



## カメラのズーム倍率を変更する

### 操作のしかた

ズーム用スクロールバーのつまみを上下に移動します。  
スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのズーム倍率が変わります。



#### ズーム用スクロールバー

上方向に移動するとズームイン（望遠）  
下方向に移動するとズームアウト（広角）

### パノラマウィンドウでズーム倍率を変更する



#### ドラッグで変更

パノラマウィンドウ上の黄色の枠線をドラッグして、枠のサイズを変更すると、ズーム倍率が変わります。



メモ

枠の外でマウスをクリックし、そのままドラッグすると青い枠が描画されます。マウスを離すと、青い枠が黄色く変化し、枠内を撮影するようにパン・チルト・ズームが移動・変更します。

## カメラを選択する

### 操作のしかた

カメラサーバに複数のカメラが設置されているときは、カメラを切り替えることができます。「カメラ」選択バーをクリックしてカメラのリストを表示します。リストの中からカメラの名称を選択すると、映像が切り替わります。

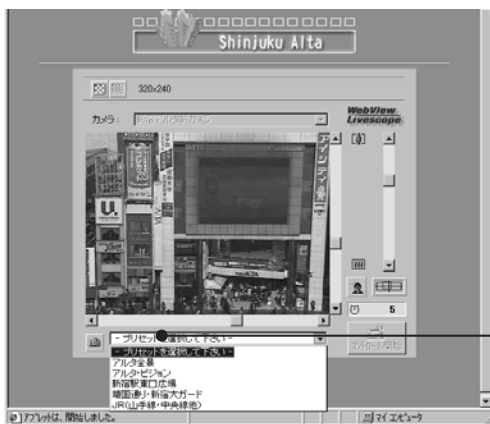


カメラ選択バー

## プリセットを使用する

### 操作のしかた

カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル(プリセット)により、カメラを制御することができます。「プリセット」選択バーをクリックしてプリセットのリストを表示します。リストの中からプリセット位置を選択すると、映像の表示が変わります。



プリセット選択バー



お願い

プリセットやカメラの選択肢はカメラサーバで設定したものが候補として表示されます。カメラサーバ側で何も登録していなければ選択肢は表示されません。

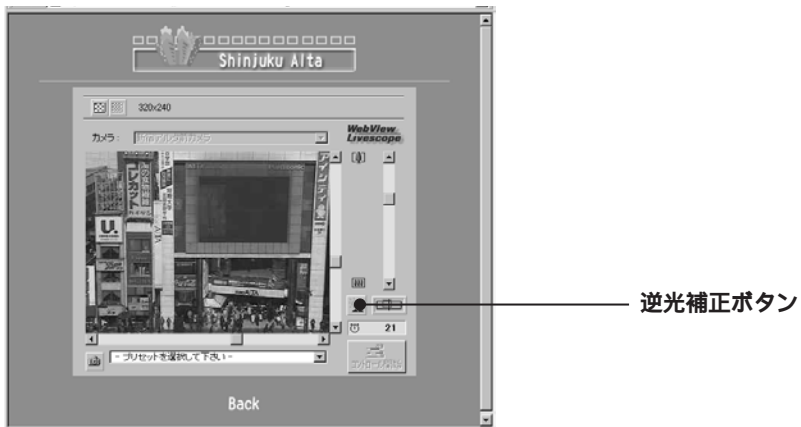
## 逆光を補正する

### 操作のしかた

映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。

[逆光補正ボタン]をクリックすると、逆光で暗かった映像が明るくなります。

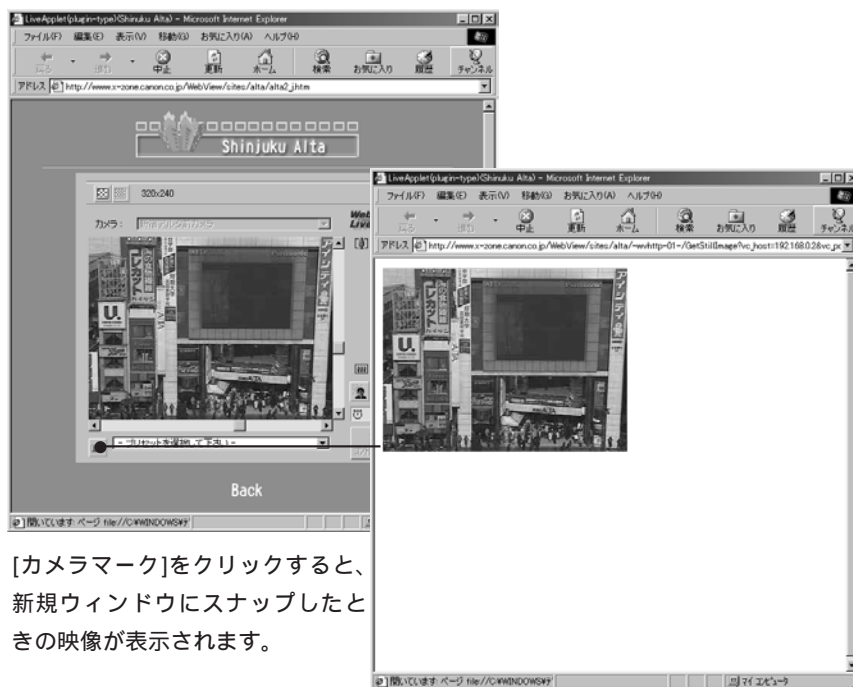
もう一度ボタンをクリックすると解除されます。



## 映像のスナップショットを取り込む

### 操作のしかた

気に入ったライブ映像のスナップショット（静止画）を撮ることができます。スナップショットは使用している Web ブラウザの新規ウィンドウに表示されます。



[カメラマーク]をクリックすると、新規ウィンドウにスナップしたときの映像が表示されます。



お願い

「カメラマーク」をクリックした時点で、新たに映像をキャプチャするため、クリックした時点よりあとの映像が表示される場合があります。



メモ

### 映像を印刷・保存する

Java 版ビューワには表示中の映像を印刷・保存する機能はありません。しかし、「スナップショット」機能を使用して、映像を保存・印刷することができます。印刷・保存したい映像のスナップショットを撮ります。ご使用の Web ブラウザの「保存」「印刷」機能を使用して、保存・印刷します。



お願い

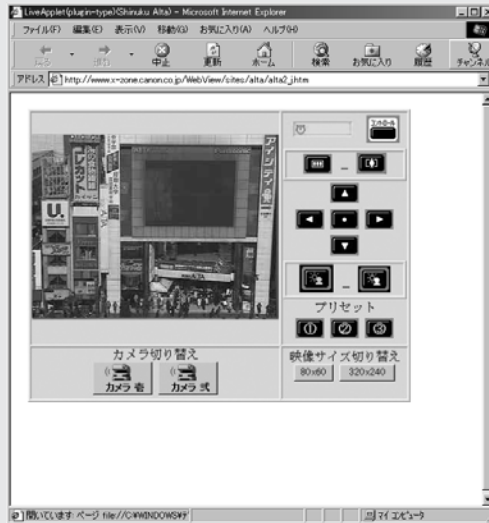
お客様が撮影した映像や画像は、個人で楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。



お願い

## ビューワ画面のカスタマイズ

Java版ビューワで表示される機能ボタンなどのGUIは、カメラサーバの設定によってカスタマイズできます。カメラサーバで機能が制限されている場合に表示されないものや、設定によって表示される形式が変化するものがあります。詳しくはカメラサーバのユーザーズマニュアルをご参照ください。



# 「Glimpse」を使用する

「Glimpse」はダウンロード時間を短縮するため、カメラ制御機能を持たず、動画表示のみを行うビューワです。

下図のように複数のサイトの表示を行うときなどに有効です。

## 「Glimpse」の表示画面



Glimpseは映像表示のみで、カメラ制御機能を持ちません。

## 第2章

# ヘルパー版ビューワ

この章ではWebView Livescope ヘルパー版ビューワを使用するための準備、操作方法を説明します。

# ヘルパー版ビューワを使用するための準備

## 2 種類のヘルパー版ビューワの違い

ヘルパー版ビューワは、ネットワークカメラサーバVB101およびネットワークカメラVB-C10/VB-C10Rに同梱されるものと、WebView World ホームページから無償でダウンロードできるものの2種類があります。以下、それぞれ「VB同梱版」、「ダウンロード版」と表記します。「VB同梱版」は「ダウンロード版」の機能をすべて含みます。カメラサーバ購入の際は、VB同梱版をご利用ください。

本書ではVB同梱版を中心に説明します。「VB同梱版」にのみ可能な機能を説明する部分については、

VB同梱版のみ

を表記します。

### VB同梱版のプラス機能

VB同梱版は、インストール後、デスクトップに実行ファイルのショートカットアイコンが作成されます( P.25)。

VB同梱版は、カメラサーバのIPアドレスなどを登録することができます。

VB同梱版は、登録したカメラサイトに直接接続することが可能です。

## ヘルパー版ビューワをインストールする

ヘルパー版ビューワはJava版ビューワと異なり、クライアントがあらかじめヘルパー版ビューワをコンピュータにインストールしておかなければなりません。



お願い

WebView Livescope Ver. 3.2.0 ヘルパー版ビューワは、ActiveX コントロールを使用しているため、Microsoft Internet Explorer 4.01 以降がインストールされていることが必要です。ビューワインストールの前にあらかじめインストールされていることを確認してください。

ヘルパー版ビューワのインストールは、WebView World ホームページからも無償でダウンロードし、インストールできます。

URL:<http://canon.jp/webview/>

### インストールのしかた

1



VB同梱版では製品付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。CD-ROMの「MonSetup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動します。ダウンロード版ではホームページからダウンロードしたセットアッププログラムをダブルクリックしてインストーラを起動します。「次へ」ボタンをクリックします。





インストール先のフォルダを指定して、「次へ」ボタンをクリックします。

特に指定がなければ、「次へ」ボタンをクリックして進んでください。



「スタート」ボタンの「プログラムメニュー」に登録するメニュー名を指定して、「次へ」ボタンをクリックします。



今までに設定・選択した項目を確認して、「次へ」ボタンをクリックします。ファイルのコピーやレジストリの設定などを行い、インストールします。



「完了」をクリックして、インストールを完了します。デスクトップ上にショートカットアイコンが作成されています。

VB 同梱版のみ



お願い

WebView Livescope Ver. 3.10 以前のヘルパー版ビューワがすでにインストールされている場合、インストール時には古いバージョンのアンインストールをたずねるダイアログが表示されます。再インストールする場合は[はい]ボタンをクリックして、インストール済みのヘルパー版ビューワをアンインストールしてから、インストールを続行します。

2種類のヘルパー版ビューワは同じマシンにインストールすることはできません。WebView Livescope MV Ver. 1.0 がすでにインストールされているマシンにインストールすることはできません。

## 推奨 Web ブラウザ以外でご使用になるには

Web ブラウザからヘルパー版ビューワを起動して使用する場合の推奨ブラウザは  
Microsoft Internet Explorer 4.01 以降

Netscape Navigator または Communicator 4.78 以降

です。これ以外の Web ブラウザで使用する場合は設定が必要になることがあります。インストール後にビューワが起動できない場合には、以下の設定を行ってください。

Web ブラウザを起動して、ヘルパー版アプリケーションの登録をします。詳しい登録の方法は、Web ブラウザ付属のマニュアルをご覧ください。

MIME タイプ	x-webview-h
拡張子	wvh
アプリケーション	MonView.exe(ダウンロード版は WebView.exe) アプリケーション ( MonView.exe または WebView.exe ) はインストール先のフォルダの中にインストールされています。 <u>C:¥Program Files¥Canon¥WebView¥Viewer¥3.2</u> (デフォルトのインストール先)

# ヘルパー版ビューワを起動する

ヘルパー版ビューワは、映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザから起動する方法と、単独で起動する方法の 2 通りがあります。通常は Web ブラウザから起動します。

映像配信用のホームページの作成は、カメラサーバのユーザーズマニュアル 第 5 章を参照してください。

## Web ブラウザから起動する



映像配信用のホームページを表示した Web ブラウザで、「ヘルパーで見る」などのボタンをクリックすると、ヘルパー版ビューワが起動し、カメラサーバに接続します。



## 単独で起動する



ダブルクリック



VB同梱版ではデスクトップに作られたアイコンをダブルクリックします。ダウンロード版では C:\Program Files\Canon\WebView\Viewer\3.2\WebView.exe をダブルクリックします。

または双方、[スタートメニュー]-[プログラム]-[WebView Livescope]-[ヘルパー版ビューワ]を選択することで起動します。

単独で起動した状態では、カメラサーバへの接続は行われていません。

# カメラサーバに接続する

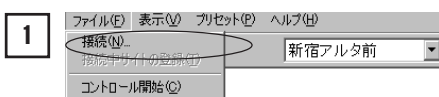
ヘルパー版ビューワでカメラサーバに接続してモニタリングする際、Webブラウザからヘルパー版ビューワを起動したときは自動的にカメラサーバに接続しますが、ヘルパー版ビューワを単独で起動したときには接続先を指定、または登録した接続先を選択します。

また、あるカメラサーバに接続した状態から別のカメラサーバに接続先を変更したり、複数のヘルパー版ビューワを起動して、それぞれを別のカメラサーバに接続することもできます。

## 接続先を指定して接続する

VB 同梱版のみ

### 接続のしかた



「ファイル」メニューから「接続」を選択します。



接続先を指定するダイアログが表示されます。各項目を入力して「OK」をクリックすると、カメラサーバに接続します。

### ホスト名

カメラサーバのIPアドレスを指定します。

### ポート番号

カメラサーバの各ポート番号を指定します。ポート番号は、カメラサーバで指定した値です。通常はデフォルトのままです。

### 中継サーバ

中継サーバに接続しない場合は「使用しない」を、中継サーバに接続する場合は、中継サーバの登録名を選択します。通常は「使用しない」のままにしてください( P.48)。

### プロトコル

カメラサーバと自動選択による接続を行うか、WebView-TCPまたはWebView-HTTPプロトコルによる接続を行うかを選択します。自動選択による接続では、ビューワが自動的に最適なプロトコルを選択してカメラサーバに接続します。ファイアウォール内からカメラサーバに接続する場合は、WebView-HTTPを選択してください( P.42、43)。

### サイト登録を行う

チェックすると、ビューワに上記で入力したカメラサーバ情報が登録され、選択ボックスから選択するだけで映像を表示することができます( P.29)。

## 登録されたカメラサーバを選択して接続する

VB 同梱版のみ

### 接続のしかた

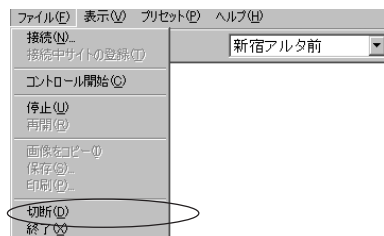


サイト選択のボックスから、接続先を選択します。ここに表示されるカメラサーバは、接続先を指定して接続する際に「サイトの登録を行う( P.28)」にチェックを付けて登録したサイト、または接続中に「接続中サイト登録ボタン( P.38)」で登録したサイトです。サーバの登録と変更( P.46)を参照してください。

## 切断する

VB 同梱版のみ

### 切断のしかた



「ファイル」メニューから「切断」を選択、またはビューワのウィンドウを閉じて終了します。



お願い

ユーザのアクセス制限がかけられたサイトに接続した場合は、接続許可されたユーザ名およびパスワードの入力を求められます。正しいユーザ名およびパスワードを入力して接続します(カメラサーバのユーザーズマニュアルを参照)。

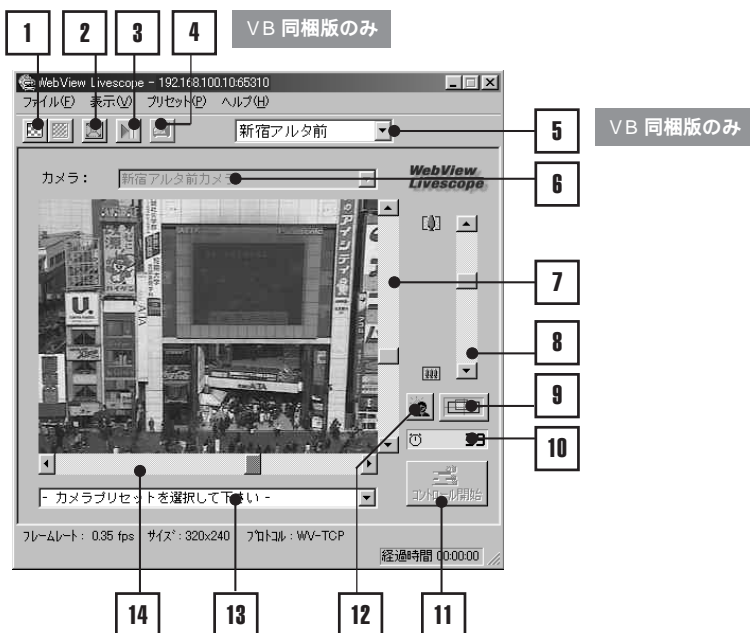


# 「ヘルパー版ビューワ」の操作方法

「ヘルパー版ビューワ」はカメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを変更できる GUI を持ったビューワです。

## 「ヘルパー版ビューワ」の表示画面について

ヘルパー版ビューワを起動して表示された GUI の機能の概要を説明します。



- 1** 映像ソースサイズ変更ボタン  
表示される映像ソースサイズを右側のボタンで一段階細かく、左側のボタンで一段階粗く変更します。粗くするとフレームレートが高くなり、細くすると画質が良くなります。
- 2** 全画面表示ボタン  
映像の全画面表示を行います。[Esc]キーで元の画面表示に戻ります。
- 3** 停止 / 再開ボタン  
動画再生を一時停止します。停止状態からクリックすると再開します。
- 4** 接続中サイト登録ボタン VB 同梱版のみ  
接続中のカメラサイトを登録することができます。
- 5** サイト選択ボックス VB 同梱版のみ  
登録したカメラサイトを選択して、接続することができます。
- 6** カメラ選択バー  
カメラサーバに複数のカメラが設置されているときにカメラの選択を行えます。
- 7** チルト用スクロールバー  
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。

- 8** ズーム用スクロールバー  
ズームの倍率を変更するスクロールバー。  
つまみを上方向に移動するとズームイン（望遠）、下方向に移動するとズームアウト（広角）します。
- 9** パノラマ表示ボタン  
パノラマウィンドウをポップアップ表示します。カメラサーバ側でパノラマ画像を登録しておく必要があります。登録されていない場合、パノラマ画像は表示されません。
- 10** カメラ制御状況ウィンドウ  
カメラ制御の情報（「カメラ制御できる」「カメラ制御できない」「順番を待っている」「カメラ制御の残り時間」）が表示されます。
- 11** コントロール開始ボタン  
カメラ制御の権利を獲得するためのボタン。
- 12** 逆光補正ボタン  
逆光補正を行う。映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。もう一度ボタンをクリックすると解除されます。
- 13** プリセット  
カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル(プリセット)により、カメラを制御することができます。
- 14** パン用スクロールバー  
カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。

## パノラマウィンドウ

パノラマウィンドウ上をクリックしたり、枠をドラッグすることでカメラ操作を行うことができます。



黒い枠表示は、カメラの中心が移動できる範囲を示しています。この枠を越えて外にカメラの中心を移動操作することはできません。

青い枠表示は、制御権を持たないときの現在のカメラの撮影している領域を示しています。

制御権を取得したときには黄色い枠表示に変わり、現在のカメラの撮影している領域を示すと同時に、黄色の枠内をドラッグしてパン・チルト操作を行ったり、枠上をドラッグしてズーム操作を行うことができます。



お願い

カメラサーバ側で可視範囲設定を行っている場合、パノラマウィンドウの大きさが変わる場合があります。

## カメラ制御を開始する

カメラサーバは同時に複数のクライアントから接続することができますが、カメラの制御は同時に複数のクライアントからは制御できません。そのため「制御権」という考え方を導入し、制御権を取得したクライアントだけがカメラを制御できるようになっています。逆光補正やプリセットの使用も制御権を取得しなければ制御できません。

### 操作のしかた






[コントロール開始]ボタンをクリックして、制御権を取得します。



カメラ制御状況ウィンドウ  
カメラ制御の状態を表示します

### カメラ制御の状況表示

カメラの制御状態によって表示状態が以下のように変わります。

-  カメラの制御がない場合
-  制御取得の予約待ち状態。  
人マークの横に表示される数字は、制御を獲得できるまでの予測時間。ただし、カメラ制御を中止したり、予約待ちから抜ける人がいるので、時間表示が「0」になる前に制御権を獲得できることがあります。
-  制御権を取得した状態。時計マークの横に表示される数字はカメラ制御の占有時間。
-  制御権占有時間を超えても制御権を保持できる状態。他のクライアントからのカメラ制御要求がないときの状態。
-  カメラ制御サーバとの接続が何らかの理由で中断されたり、起動時に接続できなかったり、接続を許可されていないときの状態。状況表示パネルが赤く表示されます。



## カメラを制御する

カメラの制御権を取得すると、カメラのアングルやズーム倍率、逆光補正などを自由に行うことができます。

### カメラのアングルを変更する

#### 操作のしかた

パン用スクロールバーまたはチルト用スクロールバーのつまみを移動します。スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのアングルが変わります。また、画像上をクリックすると、その位置にカメラの中心を移動できます。



画像上をクリックすると、その位置にカメラの中心を移動することができます。

チルト用スクロールバー  
カメラのチルト（上下）を変更するスクロールバー。

パン用スクロールバー  
カメラのパン（左右）を変更するスクロールバー。

### パノラマウィンドウでカメラのアングルを変更する



#### クリックで移動

パノラマウィンドウ上をクリックすると、クリックした場所が中心となるように、パン・チルトを移動します。

#### ドラッグで移動

パノラマウィンドウ上の黄色の枠の内側をドラッグして移動すると、その枠内を撮像するようにパン・チルトを移動します。

## カメラのズーム倍率を変更する

### 操作のしかた

ズーム用スクロールバーのつまみを上下に移動します。

スクロールバーのつまみの位置にあわせてカメラのズーム倍率が変わります。



### ズーム用スクロールバー

上方向に移動するとズームイン（望遠）、  
下方向に移動するとズームアウト（広角）

## パノラマウィンドウでズーム倍率を変更する



### ドラッグで変更

パノラマウィンドウ上の黄色の枠線をドラッグして、枠のサイズを変更すると、変更したスコープを撮像するようにズーム倍率が変わります。



メモ

枠の外でマウスをクリックし、そのままドラッグすると青い枠が描画されます。マウスを離すと、青い枠が黄色く変化し、枠内を撮像するようにパン・チルト・ズームが移動・変更します。

## カメラを選択する

### 操作のしかた

カメラサーバに複数のカメラが設置されているときは、カメラを切り替えることができます。「カメラ」選択バーをクリックしてカメラのリストを表示します。リストの中からカメラの名称を選択すると、映像が切り替わります。



## プリセットを使用する

### 操作のしかた

カメラサーバにあらかじめ登録されているベストアングル(プリセット)により、カメラを制御することができます。

「プリセット」選択バーをクリックしてプリセットのリストを表示します。リストの中からプリセット位置を選択すると、映像の表示が変わります。



お願い

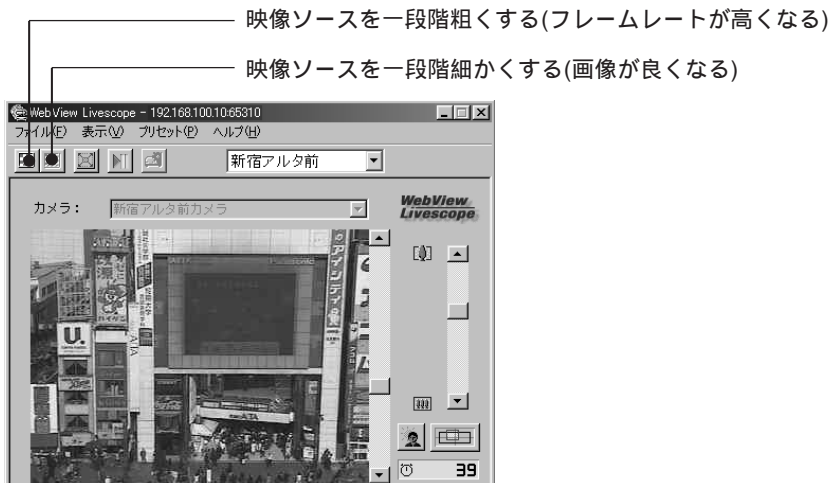
プリセットやカメラの選択肢はカメラサーバで設定したものが候補として表示されます。カメラサーバ側で何も登録していなければ選択肢は表示されません。

## 映像ソースのサイズを変更する

### 操作のしかた

カメラサーバに設定されている映像ソースのサイズが複数ある場合、表示するサイズをボタンで選択できます。映像ソースのサイズを変更しても、表示される画像のサイズは変わりません。

映像ソースサイズ変更ボタンはカメラサーバにより使用しても効果が反映されない場合があります。



## 全画面表示にする

### 操作のしかた

ディスプレイ全体に映像を表示することができます。「全画面表示ボタン」をクリックすると、確認のダイアログが表示されますので、「OK」で全画面表示を行います。元の画面に戻るときは

[Esc]キーを押します。また全画面表示中にマウスの右ボタンをクリックすると、メニュー



が表示され、元の画面に戻したり、パノラマウィンドウを重ねて表示させたりできます。

## 逆光を補正する

### 操作のしかた

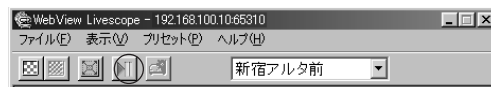
逆光を補正する映像が逆光で暗いときに使用すると効果があります。  
[逆光補正ボタン]をクリックすると、逆光で暗かった映像が明るくなります。  
もう一度ボタンをクリックすると解除されます。



## 動画表示を停止・再開する

### 操作のしかた

動画表示の停止と再開が行えます。「停止 / 再開ボタン」をクリックします。また、映像画面上でマウスの右ボタンをクリックすると、メニューが表示され、同様に動画の映像を停止することができます。再開も右ボタンをクリックして「再開」を選択して行います。



「停止」で動画映像の停止、  
「再開」で停止した映像を動画に戻します。

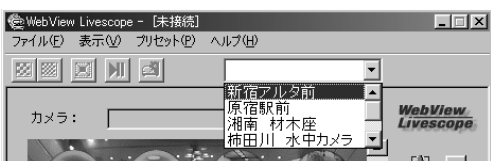
## 接続中のカメラサイトを登録する

VB 同梱版のみ

### 操作のしかた

接続中のカメラサイトを登録することで、以降の接続が簡単になります。「接続中サイト登録ボタン」をクリックすると、現在接続しているカメラサイトを登録できます。

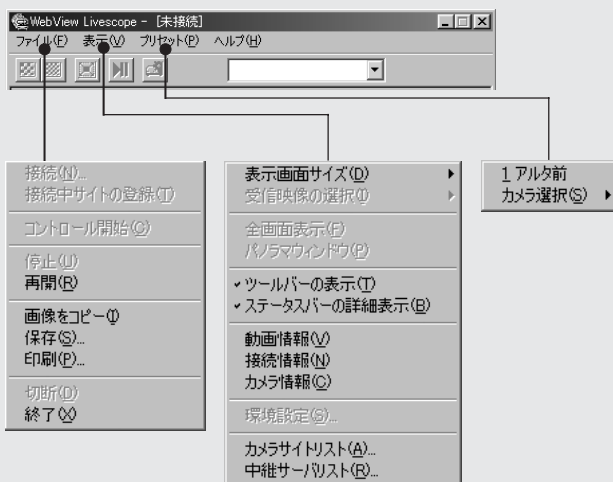
登録されたカメラサイトは、サイト選択ボックスに表示され、選択するだけで接続が可能になります。登録したカメラサイトの変更・削除も行えます( P.47)。



メモ

### メニューバーからの操作

表示されたボタンの機能はすべてメニューバーからも操作が可能です。メニューバーからのみ操作できる機能は次のページからになります。



「カメラサイトリスト」「中継サーバリスト」の使い方はP.46を参照してください。

## 映像を保存・印刷する

気に入ったライブ映像のスナップショットを保存したり、印刷することができます。

### ファイルに保存する

#### 操作のしかた

- 1 保存したい映像が表示されたときに、「停止 / 再開」ボタンをクリックします。  
動画表示が静止画表示になります。
- 2 [ファイル]-[保存]を選択します。  
終了したら「停止 / 再開」ボタンをクリックすると動画表示が再開されます。



メモ

#### ファイルの保存形式について

ファイルは JPEG 形式で保存されます。

Web ブラウザや画像ソフトなどで表示することができます。



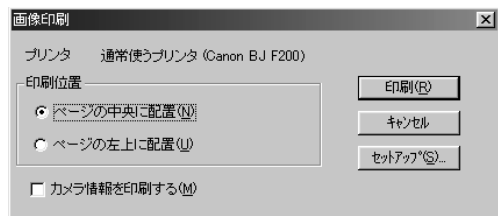
お願い

お客様が撮影した映像や画像は、個人で楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することはできませんのでご注意ください。

### 映像を印刷する

#### 操作のしかた

- 1 印刷したい映像が表示されたときに、「停止 / 再開」ボタンをクリックします。  
動画表示が静止画表示になります。
- 2 [ファイル]-[印刷]を選択します。
- 3 印刷を設定します。  
プリンタの設定を変更する場合には「セットアップ」ボタンを押してください。  
終了したら「停止 / 再開」ボタンをクリックすると動画表示が再開されます。



設定項目	内容
印刷位置	画像の印刷位置を指定できる。
カメラ情報を印刷する	チェックボックスをチェックすると、パン・チルトなどのパラメータを同時に印刷できる。

## 情報を表示する

動画、接続、カメラの情報をダイアログ表示することができます。表示はメニューバーの「表示」から、それぞれ「動画情報」「接続情報」「カメラ情報」を選びます。

### 動画情報

動画情報	
フレームレート:	0.18 frames/sec
サイズ:	19683 bytes/frame
キャプチャソースサイズ:	320x240 pixels
圧縮形式:	Motion JPEG

フレームレート  
 受信フレームレート  
 サイズ  
 1 フレームあたりのデータ容量  
 キャプチャソースサイズ  
 受信中の画像データの縦・横のサイズ  
 圧縮形式  
 サーバの画像圧縮形式

### 接続情報

接続情報	
プロトコル:	WebView-TCP
映像[WebView-TCP]:	192.168.0.2:65310
カメラ制御[WebView-TCP]:	192.168.0.2:65311
映像・カメラ制御[WebView-HTTP]:	
中継サーバ:	
プロキシ:	OFF
現地時間:	02 Dec 2001 15:17:18 GMT+09:00

プロトコル  
 WebView-TCP もしくは WebView-HTTP  
 映像[WebView-TCP]  
 カメラサーバの IP アドレス : ポート番号  
 カメラ制御[WebView-TCP]  
 カメラサーバの IP アドレス : ポート番号  
 映像・カメラ制御[WebView-HTTP]  
 カメラサーバの IP アドレス : ポート番号  
 中継サーバ  
 中継サーバの IP アドレス、ビデオ・カメラ制御・HTTP のポート番号  
 プロキシ  
 プロキシの利用情報  
 現地時間  
 カメラサーバの現地時間

### カメラ情報

カメラ情報	
カメラアングル	パン: 40.28 度
	チルト: -30.00 度
ズーム(視野角):	23.44 度
逆光補正:	OFF
カメラ機種:	Canon VC-C4

パン  
 現在のカメラのパン値  
 チルト  
 現在のカメラのチルト値  
 ズーム(視野角)  
 現在のカメラのズーム(視野角)値  
 逆光補正  
 現在の逆光補正の ON/OFF 状態  
 カメラ機種  
 接続先のカメラの名前



## 第3章

# ヘルパー版ビューワ環境設定

この章ではWebView Livescope ヘルパー版ビューワの環境設定の方法を説明します。

# 環境設定

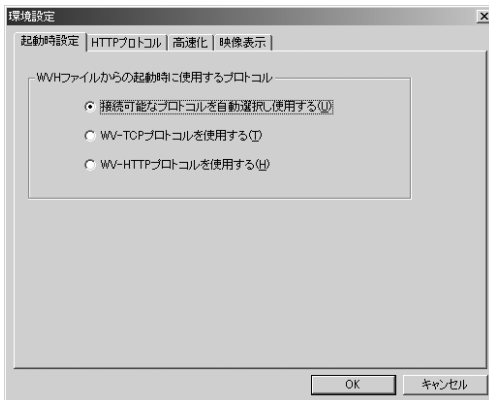
環境設定パネルから、ヘルパー版ビューワのさまざまな動作を設定することができます。通常は設定を行う必要はありません。

## 「起動時設定」を行う

カメラサーバと接続する場合に、WebView-TCP プロトコルと WebView-HTTP プロトコルのどちらのプロトコルで接続するかを設定します。

### 操作のしかた

- 1 メニューバーの[表示]から[環境設定]を選択します。
- 2 [起動時設定]の「WVH ファイルからの起動時に使用するプロトコル」を選択します。



「接続可能なプロトコルを自動選択し使用する」

接続環境が不明な場合に使用します。この場合、まず WebView-TCP で接続を試みた後、WebView-HTTP で接続を試みます。

「WV-TCP プロトコルを使用する」

WebView 専用の TCP 上のプロトコル、WebView-TCP プロトコルを使用して接続します。ファイアウォールを通過するには専用のアプリケーションゲートウェイが必要です。

「WV-HTTP プロトコルを使用する」

一般的な HTTP 規約を元にした WebView のプロトコル、WebView-HTTP プロトコルを使用して接続します。HTTP の Proxy をそのまま使用することができ、ファイアウォールを通過できます。



### ファイアウォール内から映像をご覧いただくには

お願い

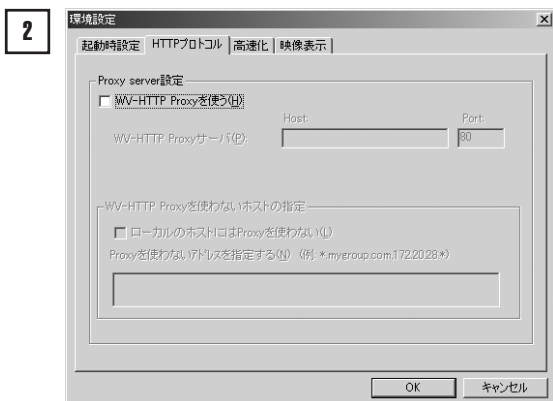
WebView-HTTP プロトコルを使ってファイアウォール内から映像をご覧いただく場合には、HTTP プロキシの設定が必要になります。Web ブラウザなどに設定されている HTTP プロキシをそのまま利用できます。ファイアウォール内からのアクセスの場合、通常はこちらの設定です(設定の詳細は P.43 参照)。

## 「HTTP プロトコル」の設定

WV-HTTP プロトコルで接続する際の設定を行います。

### 操作のしかた

- 1 メニューバーの[表示]から[環境設定]を選択し、[HTTP プロトコル]タブを選択します。



[WV-HTTP Proxyを使う]をチェックすることで、プロキシを使用したHTTPを使うことが可能になります。これを用いることでファイアウォールを通過することができます。

[WV-HTTP Proxyサーバ]で使用するサーバのホスト名とポート番号を設定します。

[WV-HTTP Proxy を使わないホストの指定]をチェックすることで、 [WV-HTTP Proxyを使う]設定をしていても、ローカルのアドレスに対し

ではプロキシを使わない接続が可能になります。

[Proxyを使わないアドレスを指定する]でプロキシを使用しなくてもアクセス可能なサーバに対して、プロキシを使わないようにします。プロキシを使わないホストのドメイン名またはIPアドレスを入力し、複数指定の場合は「,」(カンマ)で区切って指定します。



メモ

[Proxyを使わないアドレスを指定する]のホスト名には「\*」(アスタリスク)を用いたワイルドカードが使用できます。これによって複数のホストを一度に指定できます。

(例)

192.168.100.\*

IPアドレスの上位部分が192.168.100のホストにはプロキシを使わない。

\*.webview.co.jp

ネットワーク部のドメイン名がwebview.co.jpのホストにはプロキシを使わない。

## 「高速化」の設定

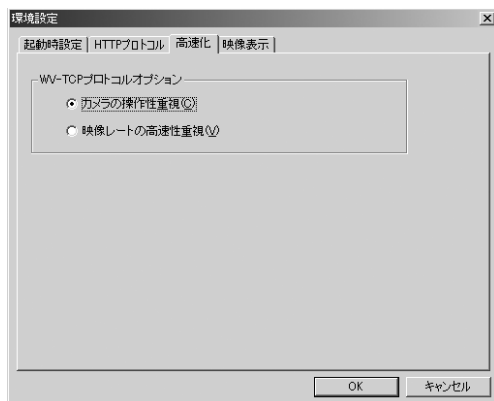
WV-TCP プロトコルの高速 TCP モードを使用することで、映像フレームレートの高速化を図れます。

「高速化」の設定はカメラサーバにより使用しても効果が反映されない場合があります。

### 操作のしかた

1 メニューバーの[表示]から[環境設定]を選択し、[高速化]タブを選択します。

2 「WV-TCP プロトコルオプション」を選択します。



「カメラの操作性重視」

通常の TCP プロトコルを使用します。

「映像レートの高速性を重視」

TCP 高速プロトコルを使用します。状態にもよりますが、「カメラの操作性重視」を選択した場合に比べて、フレームレートが 10 ~ 40% 改善されます。ただし、カメラ制御のレスポンスが遅くなる場合があります。



お願い

ネットワークのトラフィックその他の影響により、フレームレートが改善されない場合もあります。

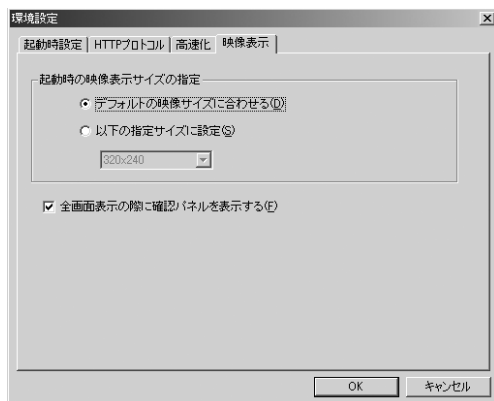
## 「起動画面サイズ」の設定

起動時の映像表示サイズを設定することができます。ただし、起動時のオープニング画面は320 × 240の画像サイズで表示されます。

### 操作のしかた

1 [表示]メニューの[環境設定]から[映像表示]を選択します。

2 「起動時の映像表示サイズの指定」を選択します。

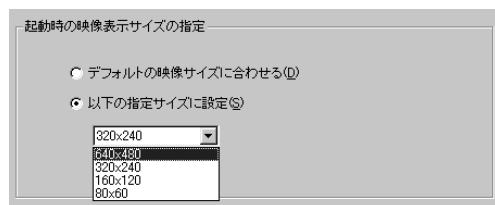


「デフォルトの映像サイズに合わせる」

サーバと接続した際に、最初に送信された画像サイズに合わせて起動します。

「以下の指定サイズに設定」

640 × 480、320 × 240、160 × 120、80 × 60の4種類から選択できます。



# サーバの登録と変更

VB 同梱版のみ

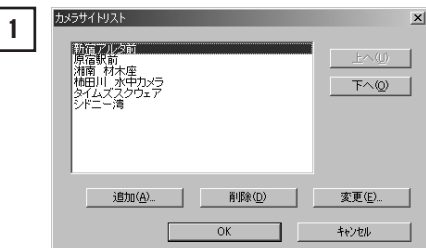
VB 同梱版は、カメラサーバおよび中継サーバを登録して、以降、登録したサーバを選択するだけで簡単に接続できます。ここでは、カメラサイトおよび中継サーバの登録と変更の方法を解説します。

## カメラサイトリストに登録する

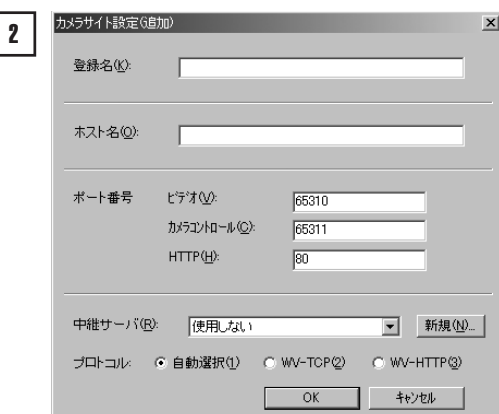
### リストに追加する

カメラサーバに接続中に登録する場合は「接続中サイト登録ボタン」または「ファイル」メニューの「接続中サイトの登録」で登録が可能です。接続していない場合は以下の操作で登録を行います。

#### 操作のしかた



[表示]-[カメラサイトリスト]を選択します。表示された「カメラサイトリスト」の「追加」をクリックします。



各項目を入力して「OK」をクリックすると、リストに追加されます。

#### 登録名

登録するカメラサーバの名称を自由に決めることができます。

#### ホスト名

カメラサーバの IP アドレスを指定します。

#### ポート番号

カメラサーバの各ポート番号を指定します。ポート番号はカメラサーバで設定した値です。通常はデフォルトのまま利用できます。

#### 中継サーバ

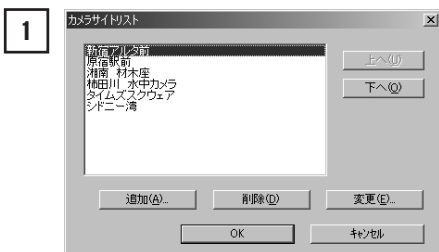
登録するカメラサイトが中継サーバを介していない場合は「使用しない」を、中継サーバを介している場合は、中継サーバの登録名を選択します( P.48)。

## プロトコル

カメラサーバと自動選択による接続を行うか、WebView-TCPまたはWebView-HTTPプロトコルによる接続を行うかを選択します。自動選択による接続では、ビューワが自動的に最適なプロトコルを選択してカメラサーバに接続します。ファイアウォール内からカメラサーバに接続する場合は、WebView-HTTP を選択してください( P.42、43)。

## リストの登録内容を変更・削除する

### 操作のしかた



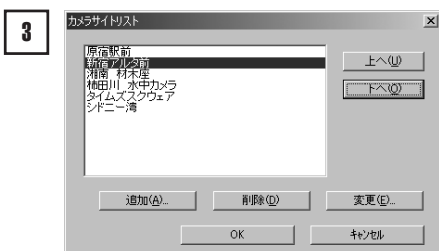
[表示]-[カメラサイトリスト]を選択して、リストに登録された、変更・削除したいカメラサイトを選択します。

内容を変更したい場合は「変更」を、削除したい場合は「削除」をクリックします。



内容を変更して「OK」をクリックすると、変更されます。

削除した場合はリストから削除されます。



カメラサイトを選択した状態で、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすると、登録の順序を変えることができます。この順序は、サイト選択ボックスでのリスト表示の順序に反映されます。

## 中継サーバリストに登録する

### WebView Livescope 中継サーバ

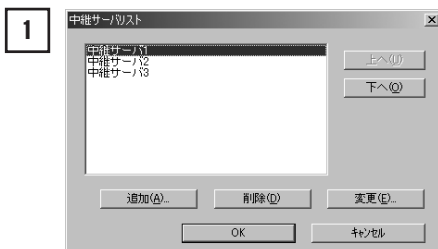
WebView Livescope 中継サーバは、キヤノンが運用する多人数向け映像配信のためのシステムです。

URL: <http://canon.jp/webview/service/>

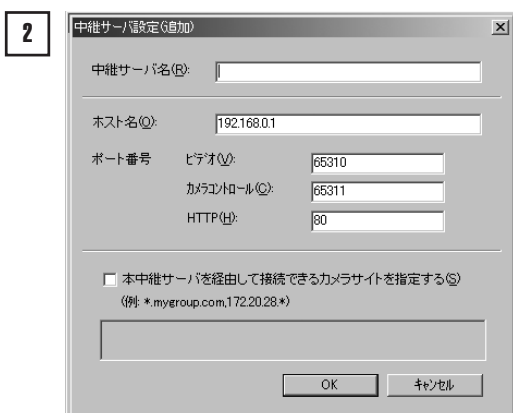
カメラサイトからの映像配信を中継して、より多くのユーザに快適な閲覧を実現するサーバで、通常、ユーザは中継サーバを意識して閲覧することはありません。

## 接続中の中継サーバをリストに追加する

### 操作のしかた



リストに登録したい中継サーバに接続しているときに、[表示]-[中継サーバリスト]を選択します。  
表示された「中継サーバリスト」の「追加」をクリックします。



「中継サーバ名」を入力して「OK」をクリックすると、リストに追加されます。

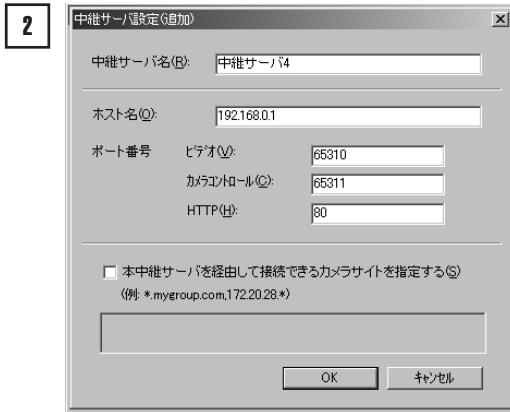


## 接続していない中継サーバをリストに追加する

### 操作のしかた



[表示]-[中継サーバリスト]を選択します。  
表示された「中継サーバリスト」の「追加」をクリックします。



「各項目を入力して「OK」をクリックすると、リストに追加されます。

#### 中継サーバ名

登録する中継サーバの名称を自由に決めることができます。

#### ホスト名

中継サーバの IP アドレスを指定します。

#### ポート番号

カメラサーバの各ポート番号を指定します。ポート番号はカメラサーバで設定した値です。通常はデフォルトのまま利用できます。

#### 本中継サーバを経由して接続できるカメラサイトを指定する

選択接続が可能な中継サーバの場合、登録する中継サーバを介して接続できるカメラサイトを指定できます。

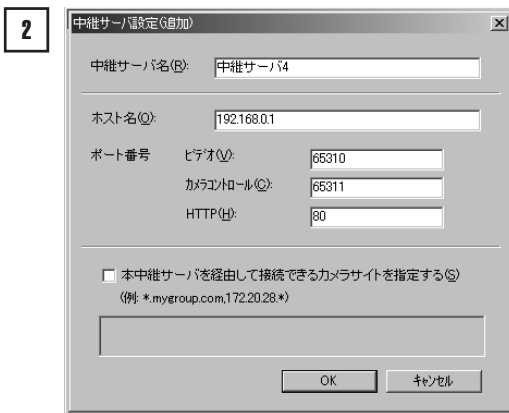
## リストの登録内容を変更・削除する

### 操作のしかた



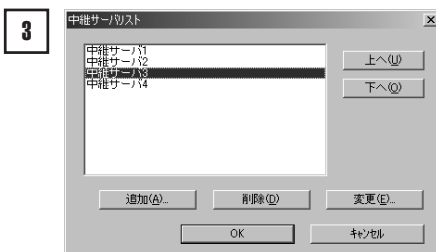
[表示]-[中継サーバリスト]を選択して、リストに登録された、変更・削除したい中継サーバを選択します。

内容を変更したい場合は「変更」を、削除したい場合は「削除」をクリックします。

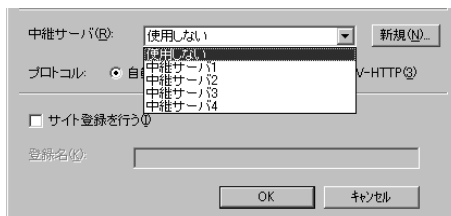


内容を変更して「OK」をクリックすると、変更されます。

削除した場合はリストから削除されます。



中継サーバを選択した状態で、「上へ」または「下へ」ボタンをクリックすると、登録の順序を変えることができます。この順序は、接続のダイアログでのリスト表示の順序に反映されます。



# 付録

ここでは、ビューワが表示するメッセージの説明をします。

# エラーメッセージ一覧

## Java 版ビューワのエラーメッセージ

状況	接続時
メッセージ	too many clients
内容	映像サーバの接続制限数を越えています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間をおいて再接続してください。

状況	接続時
メッセージ	can't connect version mismatched
内容	カメラサーバのバージョンが異なります。
対策	Webブラウザのキャッシュをクリアしてください。

状況	接続時
メッセージ	can't connect
内容	カメラサーバに接続できません。
対策	映像配信ホームページの記述が誤っているか、またはカメラサーバ側に問題があります。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	カメラ制御権取得時
メッセージ	couldn't get camera control 制御権待ちに入れませんでした
内容	カメラ制御サーバの制御権待ち人数制限を越えてしまっています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間をおいて再度制御権を取得してください。

状況	接続時
メッセージ	camera control is disabled カメラ制御はできません
内容	カメラ制御サーバとの接続ができません。
対策	映像配信者側でカメラ制御を禁止している為で、正常動作です。

状況	接続時
メッセージ	camera is off-line or abnormal カメラが電源OFFか異常です
内容	接続しているカメラの電源が切れています。または、RSケーブルが未接続となっています。
対策	カメラサーバ側に問題があります（カメラ本体の電源やRSケーブルの接続など）。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	切断時
メッセージ	disconnected
内容	接続制限時間が過ぎたか、または、カメラサーバ側の再起動処理等で切断されました。
対策	再接続する場合には、Webブラウザでページの再読み込み(更新)を行ってください。

## ヘルパー版ビューワのエラーメッセージ

状況	接続時
メッセージ	映像サーバに接続できませんでした。
内容	映像サーバに接続できませんでした。
対策	映像配信用ホームページの記述が誤っているか、またはカメラサーバ側に問題があります。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	接続時
メッセージ	ただいま混雑していますのでしばらくしてから接続してください。
内容	映像サーバの接続制限数を超えています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間を置いて再接続してください。

状況	接続時
メッセージ	カメラ制御サーバに接続できませんでした。映像のみご利用になれます。
内容	カメラ制御サーバに接続できませんでした。
対策	映像配信者側でカメラ制御を禁止しているため、正常動作です。

状況	接続時
メッセージ	制御権待ちに入れませんでした。
内容	カメラ制御サーバの制御権待ち人数制限を越えています。
対策	カメラサーバにアクセスが集中していることが予想されます。しばらく時間をおいて再接続してください。

状況	接続時
メッセージ	映像サーバは接続制限されています。
内容	カメラサーバの設定で、接続可能なクライアントが接続制限されています。
対策	正常動作です。この状態はカメラサーバの管理者が設定したものです。

状況	接続時
メッセージ	カメラの電源が切れているか、カメラに異常があります。
内容	接続しているカメラの電源が切れています。または、RSケーブルが未接続となっています。
対策	カメラサーバ側に問題があります（カメラ本体の電源やRSケーブルの接続など）。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	接続時
メッセージ	WVHファイルの内容が不正です。
内容	WVHファイル内の情報に不正がありました。
対策	映像配信ホームページの記述（WVHファイル）が誤っているか、またはカメラサーバ側に問題があります。映像配信ホームページの管理者にご確認ください。

状況	切断時
メッセージ	接続が切れました。
内容	接続制限時間を過ぎたか、または、カメラサーバ側の再起動処理等で切断されました。
対策	再接続する場合には、映像配信ホームページからヘルパー版ビューワを起動してください。

# 索引

## < アルファベット >

Glimpse 6,22  
Glimpse の表示画面 22  
Java 版ビューワ 6,8,10  
Java の使用を許可する 10  
LAN 環境で使用する 11  
LiveApplet 6,13  
LiveApplet の表示画面 13  
MIME タイプ 26  
Proxy 11,43  
VB 同梱版 24  
WebView Livescope MV 25  
WV-HTTP プロトコル  
28.40,42,46  
WV-TCP プロトコル  
28.40,42,46  
WVH 26,42

## < あ行 >

映像の保存と印刷 39  
映像 13,30,36

## < か行 >

カメラ情報 40  
カメラ制御 16.33  
カメラ制御の状況表示 15.32  
カメラ選択バー 13.18.30.35  
カメラのアンクル 16.33  
カメラのズーム倍率 17.34  
画面サイズ 45  
環境設定 42  
逆光補正 14,19,31,37  
起動時設定 42  
高速化の設定 44  
コントロール開始ボタン  
14,15.31,32

## < さ行 >

スナップショット (静止画)  
20  
ズーム用スクロールバー  
13,17,30,34  
制御権 15,32  
接続情報の表示 40  
全画面表示 36

## < た行 >

ダウンロード版 24  
中継サーバ 28,48  
チルト用スクロールバー  
13,16,30,33  
動画情報 40  
動画表示の停止と再開 37

## < は行 >

パノラマウィンドウ  
14,16,31,33  
パノラマ表示ボタン 13,30  
パン用スクロールバー  
13,16,30,33  
プリセット 14,18,31,35  
ヘルパー版ビューワ 7,24

# Canon

キヤノン株式会社  
キヤノン販売株式会社

〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目7番2